2026 年 11 月 9 日
アカマイ・テクノロジーズ合同会社

Akamai、ISMAP 登録により日本のサイバーレジリエンス強化に貢献：AI 悪用で高度化する脅威に対抗し、事業リスクを低減

主要 3 サービスの政府セキュリティ評価登録を通じ、官民組織のセキュリティ評価プロセスの効率化、事業継続性の維持、および不可欠なオンラインサービスの保護を支援

相次ぐサイバー攻撃によって日本全国で事業活動やサプライチェーン、社会基盤サービスへの深刻な影響が広がる中、Akamai Technologies, Inc.（以下「Akamai」）は本日、中核となる 3 つのソリューションにおいて、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）の登録を完了したことを発表しました。これは、複雑化する脅威環境において、国内組織のサイバーセキュリティ強化、事業継続性（BCP）の維持、および安全なデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を支援する Akamai の取り組みにおける極めて重要なマイルストーンです。

「App & API Protector（Web アプリケーションと API の保護ソリューション）」、「Ion（Web パフォーマンス最適化ソリューション）」、「Dynamic Site Accelerator（動的 Web サイト高速化ソリューション）」の 3 製品が、いずれも ISMAP が定める独立した第三者機関による厳格なセキュリティ評価プロセスを完了し、ISMAP のクラウドサービスリストに正式登録されました。本登録により、公共部門には安全なデジタルインフラを効率的に調達するための客観的な評価基盤が提供され、規制業界をはじめとする民間企業にとっても、高度なセキュリティ要件に照らしてパートナーを評価するための信頼性の高い指標がもたらされます。

サイバーセキュリティは事業継続性（BCP）に直結する経営課題へ

日本国内で近年相次ぐ重大なセキュリティインシデントは、サイバー攻撃による被害が単なる IT システムの停止にとどまらず、製造ラインや受発注、物流、顧客サービスの停止といった事業活動の中断を招き、サプライチェーン全体や市民生活、社会的信用に深刻な打撃を与えることを浮き彫りにしました。

同時に、フロンティア AI や高度な自動化技術の急速な普及は脅威の様相を一変させ、攻撃者が未知の脆弱性を特定し、前例のない速度と規模で攻撃を実行することを可能にしています。これに伴い、経営層に求められる対策は単なる「攻撃の未然防止」の枠を超え、予期せぬ危機やアクセス集中時にも極めて重要なデジタルサービスの安全・稼働を維持し続ける包括的な「サイバーレジリエンス」の確立へとシフトしています。

確かなセキュリティ担保を、具体的なビジネス価値へ

Akamai の ISMAP 登録は、日本の公共機関および民間企業における 3 つの重要課題の解決に直接貢献します。

1. **事業継続性と運用のレジリエンス強化**
   Web・API 防御機能とエッジでの配信最適化を統合することで、アクセスの急増時にも安定したパフォーマンス

を維持しつつ、悪意あるトラフィックをネットワーク境界（水際）で無力化します。サービスの停止が許されない金融機関、行政機関、重要インフラなどの継続的な事業運営を強力に支えます。

2. **セキュリティ評価および調達プロセスの効率化**
   ISMAP の標準化された枠組みの下で事前検証された第三者評価を活用することで、政府機関は調達時のセキュリティ審査における重複作業を削減し、迅速かつ安全な導入を進めることができます。また、民間企業にとっても、対象サービスのセキュリティ対策の妥当性を測る信頼性の高い判断基準となります。
3. **フロンティア AI 時代における安全な DX の推進**
   デジタルサービスの拡張や API への依存度が高まる中、これらを繋ぐアプリケーションとインフラの保護は不可欠です。中核ソリューションである「App & API Protector」は、「IDC MarketScape: Worldwide Cloud WAAP Services 2026 Vendor Assessment」において「リーダー」に位置付けられ、「2025 Gartner® Peer Insights™ Voice of the Customer for Cloud Web Application and API Protection (WAAP)」においては 6 年連続で「Customers' Choice」に選出されるなど、国際的に高い評価を得ています。「Ion」および「Dynamic Site Accelerator」との連携により、強固な防御と快適な配信性能を両立させ、確実な事業のモダナイゼーションを支援します。

アカマイ・テクノロジーズ合同会社 職務執行者社長 日隈 寛和のコメント：

「近年国内で発生しているサイバーインシデントは、サイバーセキュリティがもはや単なる IT の技術論ではなく、事業継続性、顧客からの信頼、そして持続的な成長を支える不可欠な経営基盤であるという事実を再認識させています。AI の導入が加速する今、組織には革新的なイノベーションの追求と、社会や顧客が依存する重要サービスのレジリエンス維持を両立させることが求められています。

Akamai は四半世紀以上にわたり、日本国内のミッションクリティカルなシステムを支えてまいりました。今回の ISMAP 登録は、当社のセキュリティ基準が国家の最も厳しい要件を満たしていることの客観的な証明です。私たちは今後も、日本の公共部門および民間企業が不可欠なデジタルサービスを守り抜き、AI 主導の世界で自信を持って新たな可能性を切り拓けるよう支援してまいります」

ISMAP（政府情報システムのためのセキュリティ評価制度）について

政府が求める厳しいセキュリティ基準を満たすクラウドサービスを事前に評価・登録し、公共部門における安全で円滑な導入を支援する制度です。国家サイバー統括室（NCO）、デジタル庁、総務省（MIC）、経済産業省（METI）が共同で運営し、独立した第三者監査法人による厳格な監査をクリアしたサービスのみが登録を認められます。そのため、官公庁・自治体だけでなく民間企業にとっても、極めて信頼性の高いクラウドサービスを選定するための客観的な指標として活用されています。

※本登録は対象となる特定のサービスおよび範囲に適用されるものであり、提供事業者の全サービスを認定するものではありません。

Akamai について

Akamai は、AI が推進する世界の力となり、守るクラウドカンパニーです。当社のクラウドプラットフォームは、コアからエッジまで高性能なクラウドコンピューティングを提供し、次世代の AI アプリケーションの構築と拡張を可能にするとともに、包括的な多層防御によって、進化し続けるサイバー脅威から企業を保護します。詳細については、akamai.com および akamai.com/blog をご覧いただくか、X や LinkedIn で Akamai Technologies をフォローしてください。

Akamai では、AI・クラウド・セキュリティの最新トピックや最新情報を 3 分で解説するポッドキャスト「Akamai Tech Insight」を配信しています。ぜひあわせてお聴きください。
URL：https://x.gd/G0bb1m

※Akamai と Akamai ロゴは、Akamai Technologies Inc.の商標または登録商標です
※その他、記載されている会社名ならびに組織名、ロゴ、サービス名は、各社の商標または登録商標です
※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動しうるものです